

引張強度780N以上! 軽く、強い、農芸用鋼管
STX780
大和鋼管
STX780強度試験、YouTubeで公開中 <https://youtu.be/lvNbj9dGS-c>

中央ぶれす

発行者
矢板市扇町2丁目1519
矢板中央高等学校
PTA・生徒会
TEL 0287(43)0447
FAX 0287(43)0899
印刷
(有)高久印刷
TEL 028(673)2102



強い日差しの中ガイドの話しを聞く生徒

学年遠足は5月29日、1年生が「自然に触れよう」、2年生が「歴史に触れよう」、3年生は「キャリア教育」をそれぞれテーマに実施した。3年生は今年度から「大学見学」が実施され、白鷗大学と帝京大学をそれぞれ見学した。

**教室では学べないものを
深まる友情**

2年生は、足利学校と鑿阿寺(ぼんなんじ)、佐野プレミアムアウトレットへ出かけた。生徒たちはガイドの説明を受けながら、足利学校の建物を見て回った。「日本最古の学校」と伝わる足利学校は天長9年に小野篁(おののたかむら)によって創建されたと伝わっている。その後、隣接する鑿阿寺に参詣し、佐野プレミアムアウトレットで昼食、各自約2時間の自由行動を楽しんだ。服や靴などを買い、カフェでくつろぐ生徒など過ごし方はそれぞれだった。参加した増淵勝平君(2の4)は「足利学校は初めて行ったため少し興味が湧いた」また「アウトレットは思うように買物ができなかった」と語った。

「キャリア教育」をテーマにした3学年は大学コースと就職コースに分かれてそれぞれの場所で見学した。

大学コースは白鷗大学と帝京大学を見学した。白鷗大学(本キャンパス)ではまずビデオを見ながら大学の基本情報や特徴を説明。現役大学生の意見を聞くことができ、本校の卒業生は「部活と勉強の両立をしようと思えばできます」と訴えた。その後、図書館を自由に見学した。次に帝京大学(宇都宮キャンパス)では学食で昼食を摂った後に、同じく大学説明、図書館、接骨院、バイオ温室、格納庫を見学。格納庫では

実際に生徒が飛行機に乗る体験をした。御代田一愛さん(3の6)は「大学についてたくさん知ることができました。学んだことを進学に生かせられればと思います」と振り返った。

3年生就職コースでは、佐野プレミアムアウトレットと株式会社スバル矢島工場を見学した。

生徒たちは、佐野プレミアムアウトレットで昼食を摂った後、各自約1時間の自由時間を楽しんだ。

次に株式会社スバル矢島工場に見学に向かった。まず、車造りを大まかに解説したVTRを見て、自動車製造している工場を見学した。工場内は蒸し暑く、生徒たちは「暑い」と言いながらもスムーズに見学していた。工場を見学した鹿沼恵梨香さん(3の6)は「車の製造と組立のしくみがよくわかった。あと、リサイクルで車が造られていることにとても驚いた」と話した。

1年生は「自然に触れよう」をテーマに那須八幡つつじ園でハイキング、那須ハイランドパークで自由行動を楽しんだ。

遠足に参加した湖上優花さんは(1の6)は「那須ハイランドパークにも山にも行ったことがなくとてもワクワクした。いい思い出になった」また富山翔太朗君(1の5)は「この遠足でいろいろな人の一面を見ることができ、人との距離が少し近づいたと思うようになった」と話していた。



第42回
全国総文祭
長野大会。
本校は今年
で11年連続
12回目の出

場だ。私は初めての参加で不安と緊張を胸に会場入りした。大会には優秀な高校が13校、約300人が集まっていた▼前夜祭では名札に書いてある班に分れて自己紹介や長野クイズで交流を深め合い、その後軽く打ち合わせを実施した。自己紹介では学校名、名前、学年、趣味、好きな食べ物を言わなければいけないが、緊張しすぎて学年を言い忘れてしまった▼次の日は取材がメインで私のコースは「6次産業とこれからの農業」。サンクゼールは久世良三社長が飯綱町との繋がりがや会社設立を話した。また、りんご農家が栽培方法やサンクゼールとの提携を説明した。こうして取材は終わった。取材から帰るとレィアウト、どの記事を担当するかを決めた。記事を書き終えた後、記者の皆や部員がフォローしてくれ書き終えることができた▼最後には記事の清書、見出し、貼り付けをした。時間が近づくと焦りが見えたが終えると皆笑顔だった▼全国大会に行けたことは一生の思い出になる。大会で学んだことを部活で活かしていけるように努力したい。

2019年4月「管理栄養士学科」「助産学科」「歯科衛生士学科」開設(認可申請中)!

<p>晃陽看護栄養専門学校</p> <p>食分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆管理栄養士学科(認可申請中) ◆栄養士学科 ◆調理師学科 ◆グランシェフ学科 ◆製菓製パン衛生師学科 <p>医療分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆看護学科 ◆助産学科(認可申請中) ◆救急救命学科 ◆歯科衛生士学科(認可申請中) 	<p>日本危機管理専門学校 EIKA美容専門学校</p> <p>◆危機管理学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・警察官・消防官養成コース 大学編入コース/ヘリ操縦訓練コース ◆国際交流学科 <p>◆美容学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋間部 通信部 	<p>オープンキャンパス 開催中!【事前申込制】</p> <p>9月8日(土)</p> <p>食分野 11:00 ~ 15:00 医療分野 13:00 ~ 15:00 美容・危機管理 13:30 ~ 15:30 国際交流 10:30 ~ 12:00</p> <p>オープンキャンパスのお申込みは、下記のメール・電話・HPからできます。</p>
---	---	---

交通アクセス JR 湘南新宿ライン・宇都宮線 (宇都宮駅)より約38分

学校法人晃陽学園本部
TEL 0280-31-7888 〒306-0011 茨城県古河市東1丁目5番26号
<http://www.koyo-gakuen.ac.jp> E-mail:info@koyo-gakuen.ac.jp

10月1日(月)より入学願書受付スタート!

今年もやってきた



現部員・OBも集合!!

新聞研修会

第33回新聞部研修会は2月23日から1泊2日の日程で30人が参加して行われた。現役部員とOBたちが一堂に会してあいさつする。今回は昨年引き続き那須塩原温泉で行われた。

23日午後1時30分に学校に集合し、午後3時会場となるかんぼの宿塩原にチェックインした。OBたちも次々とチェックインし、午後6時45分から食事が始まり、また妙雲寺の加藤明徹住職の講

演を聞いた。この後はOBたちの現役時代の貴重な話が聞け、さらに場が盛り上がった。部屋に戻っても各自話が続ぎ、かなり夜遅くまで尽きぬ話で盛り上がっていた。

24日は7時50分から9時までに人それぞれ朝食を摂った。朝食を摂った鹿沼恵梨香さんは「からあげや卵焼きなど豪華でおいしかった」と笑顔で語った。朝食を済ませた後荷物をもとめ、午前9時45分に1階のロビーに集合し、バスに乗り帰路についた。

平和について考えよう



悲惨さを語る

人権教育講演会

戦争を繰り返してはならない

人権教育講演会は5月16日に記念体育館で行われ、講師の高橋久子さんが「平和学習を通して人権について考える」をテーマに自身の広島での被爆経験を通して戦争の悲惨さを訴えた。

講師紹介が行われ、五味田校長は「戦争は人権を踏みつける最大の物だ」と思う。被爆者の高齢化により当時の話を聞く機会は少なくなってきた。貴重な機会なので話をしっかり受け止めてほしい」と話した。

次に講師の高橋久子さんが戦時中の日本、自分の家族、原爆投下時の状況を広島市の地図を用いて説明し始めた。太平洋戦争末期の昭和20年、高橋さんは3月に小学校を卒業し県立女学校に入

った。終戦後三次高等学校に入学。やけどの跡の残ったケロイドを見た隣人は気味悪かった。卒業後就職した職場でも同様であった。73年たった今でもやけどの跡が残っている。1957年から国の被爆者に対する援助が始まった。平成7年、被爆者援護法が施行されるまでは被爆していたことを隠していた。今でも跡を隠すために長袖を夏でも着ている。高橋さんは「現在では広島、長崎の原爆の何千倍もの威力を持った核兵器が3万以上ある。核を使わせないために永久平和を守っていく必要がある。また「毎年8月6日にNHKでは平和祈念式典が放映される。夏休みなので家族皆さんと一緒に見て平和について考えてほしい。そして原爆の惨状を後世に伝えていってほしい」と訴えた。

講演会後高松なずなさん(3の3)の質問と福田美久さん(同)の感謝の言葉があった。本校図書室では講演会に伴い原爆に関する資料が展示された。講演会後コーナールを見学した齋藤美奈さん(保護者)は「一番怖いのは無知であり中央生には知らないことの怖さを知って欲しい」と話した。また、松澤寿実さん(同)は「核をこれ以上作ったり増えたりすることがない時代になってほしい。広島や長崎の惨

状を風化させてはならないと思う」と話した。一方、高橋さんの所属する日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)傘下の栃木県原爆被害者競技会は5月19日、会員

の高齢化で活動が困難になったとして解散となった。栃木被団協はピーク時に40人近くいた会員が現在、100人足らずになり、多くは80歳で集会を開くことも困難になっていた。

座学では学べない恐怖 危険体感研修



いざ、体験!

本校新聞部は3月22日に大和鋼管(さくら市鷲宿)に工場見学へ行き、危険体感研修した。同社の安全対策室兼総務部の高橋和俊次長が新聞部顧問の中山先生から高校時代にテラスを教えてもらったことで実現し、今年2方向目となる。研修前に新聞部員は社員食堂で昼食を摂った。1食300円と低コストでボリュームのある昼食となっていた。

この後、玉村忠義副社長のあいさつ、高橋次長から工場の概要が説明された。同社は1932年9月に創業、パイプメーカーとしては非常に古いメーカー。またベトナム、インド、アメリカに関連会社を持つ。従業員は20人、うち15人

(来年度入社3人を含む)が本校OBだ。製品は主に亜鉛メッキ鋼管(パイプ)で足場管、農業用ハウス、公園の遊具など幅広く使われている。説明後部員らは危険体感室へ移動し、工場での事故の疑似体験をした。過去に事故が起きたことがあり、座学では学ぶことのできない恐怖を体感させるために設置されている。部員は作業用のヘルメットと軍手を着け「服装良し」の掛け声からスタートした。堤体巻き込まれ体感、Vベルト巻き込まれ体感、ハンドグライダースW切り忘れ体感、低圧感電体感など8つの装置で行った。事故を起こさないための正しい手順、その手順を行わずに事故が発生した場合法律上ではどのような処罰が下されるかということを学んだ。研修に参加した部員は「機械を扱うときの注意深さが身にしみて分かった」(石下美琴部長)、「改めて仕事にかかわる際の危険性を学んだ」(小倉千弦)と身を持って体感した。

京都 臨濟宗妙心寺派(禅宗)

塩原温泉 ぼたん寺

甘露山 妙雲寺



年間行事

- 1月 大般若祈祷
- 2月 節分会
- ねはん会
- 3月 彼岸会
- 5月 牡丹まつり
- 降誕会
- 7月 孟蘭盆会
- 9月 彼岸会
- 12月 成道会
- 除夜の鐘

〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原665

TEL 0287-32-2313

FAX 0287-32-4388

地球の温暖化が進んでいるので、台風が発生も例年より多く、次々と日本列島に上陸、接近しました。また、これまで風水害などの被災の少ないといわれた岡山・広島等の瀬戸内地域で西日本豪雨が発生し、避難生活を余儀なくされた人もいます。「晴れの国」と言われていた地域での河川の氾濫による災害は意外であり、地理の授業で学んだ瀬戸内海性気候の特徴が、今年度の夏は気温が三十五度を超える日が続き、如だるような暑さ対策が求められました。熱中症にかからないために、温度急上昇の日中だけでなく、夜間においても空調設備の活用が呼びかけられたほどです。こうした過酷な環境の中で、運動部活動を炎天下で実施することは是非を問われない。連日の猛暑で、条件のいい時間帯を選ぶのがむずかしく、練習にも制限が加えられるような状況でした。

本校の部活動はこの猛暑の中でも、サッカー部はインターハイやフットサル全国ユース大会の準備のため、練習に励む姿がありました。東泉の人工芝サッカー場は他に類のないすばらしい施設であり、多少の気象変動にも対応できるように設計されていますが、暑さには弱い面があります。ピッチ上ではアスファルトの路面にいるような体感温度となりますので、殊更の鍛錬となったのではな

猛暑の夏を乗り越えて



学校長 五味田 謙一

いかと思います。猛暑の中で行われるのがインターハイであり、本校が二年前の広島大会に出場した時も真夏日となりました。近大和歌山高との対戦となりましたが、鍛えられている選手でも、暑さ克服は難しいよう、押し気味の試合を一転逆襲されての惜敗となりました。当時、開催地である広島は選手と関係者の宿泊で満杯となり、私たちが応援組は隣接する岡山県倉敷に宿泊しました。

したが、第三セクター運営の井原鉄道で、山陽本線のバイパスとしての役割を担っているとのこと。応援が主であったこのときは観光がでなかつたので、別の機会にこの地を訪れ、岡山の「後楽園」を見学、JR吉備線を利用して総社市に向かいました。沿線には桃太郎伝説に由来する吉備津神社や備中国分寺等の名所があり、現在宇都宮で進められているライトレ

大本番だけではない日常活動の質を高めたものです。高校総合文化祭の開かれた信州には、私も趣味とする囲碁の研修等何度も訪れています。平成三〇年をもって改元となりますが、昭和の最後のお正月に、長野市で開催された囲碁大会に参加したことが記憶に残っています。昭和天皇崩御にあたり、歌舞音曲の自粛が要請され、舞台上で予定されていた大盤による解

倉敷は美観地区といわれる観光スポットに大原美術館などの文化施設が点在しており、多くの観光客で賑わっています。今回の西日本豪雨で被災したのは同市真備町で、短時間での河川の氾濫となり、地域全体が水浸しとなっていました。テレビの映像から被害状況が目に報道されましたので、あらためて自然の威力を再認識することになりました。水没した町並みの中央部を走る鉄道の高架が映し出されていま

ールの構想が発表され、一段と利便性が高まると思われま。この夏のインターハイ全国大会にはサッカー・バスケットボール・ソフトテニスが県代表となり、全国高校総合文化祭には新聞・文芸部が参加しました。代表を勝ち取るための努力が実ったものであり、奮闘を称えたいと思います。

新聞部のように継続的な活動が評価されるもの、文芸部のように磨いた感性が問われるものがあり、

今年のサッカー部は、先輩の全国高校選手権ベスト四という輝かしい伝統を受け継ぐ形でスタウトし、新大会優勝、関東プリンスリーグ参入という輝かしいスタートを切りました。本番を迎えた夏のインターハイ予選では、順調に勝ち上がり、決勝戦でライバル校の佐野日大高と優劣を決することになりました。先制点から追加点と優位に試合を進めることで、全国大会の切符を手にする事ができました。

また、バスケットボールは県予選決勝で宇中女高に競り勝つての初優勝となり、みごとに創部九年目で、全国の大舞台に立つことができました。愛知県小牧での大阪桐蔭高との対戦は、相手校のスピードが優り、前半は苦戦となりましたが、雰囲気慣れた後半は互角の試合となりました。

猛暑となったこの夏には様々なドラマがあり、大舞台での貴重な経験をすることができたと思いますので、体感できたものを乗り越え、さらなる躍進を期待するものです。

話を中止し、プロ棋士の対局を静かに見守ることになりました。昭和から平成、そして次の世代にバトンを繋ぐときが来たり、感慨深いものがあります。高校総文祭の新聞部門は長野を中心に松本や葛飾北斎ゆかりの小布施での取材があったこと、信州特有の文化風土を十分に吸収できたのではないかと思います。また、文芸部門は佐久市で行われ、本校からは俳句分野に参加しました。

団地の家庭菜園は入居者仲間の憩いの場。休日には親子が鍬や鎌を持って多彩な顔ぶれがそろう。一汗流すと声かけあって木陰で一服。自慢の生り物や職場の珍事やらを披露する話がつぎと世上のうわさ話でさらに盛り上がる。子どもらは手の血豆や虫刺されの腕を見せ合いはびこる雑草に音を上げる。

農婦は雑草の質を熟知している。ヒゲ根 フシ根 ゴボウ根 背丈を伸ばす茎 地を這う茎 地に潜る茎 地味で目立たないが日差を好む花 嫌う花 靴底や服につく種 弾ける種 風に舞う種 種を絶やさぬ雑草の秘めたしたたかさにある者は耳目をひく言葉の口にする。子どもは雑草のように強い人間になりたいと大人は雑草根性 雑草精神 雑草魂などと

雑草魂

教諭 橋本 昭司

大貫印判店

大貫 達雄

栃木県矢板市扇町1丁目10番3号
TEL・FAX 0287-44-0130

矢板市 質 金買取り・販売

(有)篠崎質店

初めての方、女性も安心して
御来店いただける

大型駐車場付

矢板市鹿島町1-45 TEL 0287-43-035

新部長に聞く

最後まで登りきる

山岳部
平山 尚実

矢板中央高校3年4組平山尚実です。現在部員は3年生2人、1年生1人の計3人で活動しています。

主に活動していることは体を鍛えるためのトレーニングです。土曜日の部活は平日の練習で走っている距離より長く走っています。夏休みには夏山合宿というものがあります。去年は福島県の山合宿という山に行きました。

内で開催される登山の大会が一つもありませんでした。今年目標は今年に大会が再開する予定があるようなので最後まで登りたいと思います。これからの山岳部に応援をお願いします。



矢板中央の鏡になれるように

サッカー部
白井 陽貴

私はサッカー部主将の白井陽貴です。サッカー部は高橋監督をはじめ計13人のスタッフで活動しています。昨年サッカー部は関東プリンス参入、全国高

校サッカー選手権大会第3位、という成績を残しています。サッカー部は今、1年生53人、2年生56人、3年生56人計165人の過去最高の人数で活動しています。

今後の目標は、全国制覇することです。そのために関東リーグ、県リーグなどのリーグ戦で結果を残し今後の大会に向けて頑張っていきたいです。そして昨年達成できなかった四冠も取

り上に行けるように、先陣方を超えられるように、チーム全体で意識を高くして普段の生活からしっかりと頑張りたいです。今のサッカー部が矢板中央高校の鏡になれるよう努力していくので応援よろしくお願いします。



周りの見本になるように

柔道部
近内 佳樹

柔道部部長の近内佳樹です。部員は男子9人女子1人の合計10人で、監督である松山和久先生の指導

のもと日々活動しています。昨年は東北大会での個人しか結果が出ておらず悔しい結果となりました。今年には部員の数も増

え昨年より活動に専念できる環境が整いました。そのため、より一層練習をし、県大会上位入賞をして関東大会に出場したいです。また、日々の柔道の鍛錬によって柔道精神の一つである「心・技・体」の心の部分も鍛えて、周

りから見本になるよう日々精進していきます。矢板中央高校の代表として大会に出場できることを誇りに思っています。活躍できるように頑張りますので応援よろしくお願いします。



歴代の矢板中央を超えたい

女子バスケット部
小林 理奈

バスケットボール部キヤプテンの小林理奈です。顧問の長田先生は、熱く厳しい指導の中にも優しく、技術面だけではなく生活面の指導もしてくださる素晴らしい先生です。

副顧問の坂田先生はとても真面目でどんなことにも真剣に考えて部を支えてくださる縁の下で力持ちな先生です。

昨年の成績は、県大会でベスト4です。県で優勝するにふさわしいチームづくりを毎日の練習で行っています。バスケットボールは習慣のスポーツといわれているので良い習慣を身につけるために常に全力でやっています。

そんなバスケット部の人数は、1年生9人、2年生11人、3年生11人の計31人です。今後の目標は、県で優勝し全国大会で2勝でも多く勝ち進むことです。そして、今までのバスケット部らしさ



かるた甲子園目指して

かるた競技部
栗山 夏音

私たちがかるた競技部は、男子4人女子11人合計15人で活動しています。活動内容は、毎週月曜日と木曜日に放課後、

図書館に畳を敷いて、試合形式で二対一で札を取る練習をしています。また、団体戦が近くなると、5人組になり、札を取った

り、声かけの練習をしています。そんなかるた競技部の顧問の大崎久美子先生と、部活に少しの時間だけでも居てくださいと、みんなうれしそうに、その場を和ませてください。女優に似そな高校生のかるた大会に出場することを

麻美先生です。大崎先生と植木先生には本当に感謝してもきれないくらいです。かるた競技の今年の目標は、個人戦で1人2回戦突破すること、団体戦では、かるたの甲子園とも呼ばれている、近江神宮で行われる高校生のかるた大会に出場することです。



漢方相談

ダイエットカウンセリング

(株)大貫薬局

矢板市扇町1-6-4

TEL 0287-43-0019

矢板銘菓 八起最中

せきりゅうあん 關龍庵・吉澤

店主 関谷 龍男

TEL 0287-43-0024 FAX 0287-43-0059

〒329-2161 矢板市扇町1-9-2 3

上位大会を目指して

矢板中央ソフトテニス部部長の後藤大輝です。テニス部は大塚先生の熱い指導のもと、1年生8人、2年生5人、3年生7人の総勢20人で活動しています。昨年の成績は、関東選抜ソフトテニス大会の団体戦でベスト8、個人戦では2ペアがインターハイに出場しました。他にも県の大

ソフトテニス部 後藤 大輝

会では、団体個人ともに優勝しています。今後の目標は、団体戦では県の大会で優勝、上位大会に行けるようにし、個人戦では1ペアでも多く上位大会に行けるようにするこ

とです。これからの練習にしっかりと取り組み、上位大会に駒を進めるように頑張りますので応援よろしくお願ひします。



目標は甲子園へ

野球部主将、3年3組山口舞貴です。私たちは奥澤先生、黒田先生、土屋先生、円井先生、白井先生のご指導のもと3年14人、2年23人、1年22人の59人で日々練習に取り組んでい

野球部 山口 舞貴

ます。昨年は春夏ともにベスト8、個人戦では、2ペアがインターハイに出場しました。他にも県の大

会では、団体個人ともに優勝しています。今後の目標は、団体戦では県の大会で優勝、上位大会に行けるようにし、個人戦では1ペアでも多く上位大会に行けるようにするこ



協力し合い絆を深める

女子剣道部部長の杉原千穂です。私たちは女子剣道部は、顧問である人見先生のご指導のもと1年生7人、2年生5人、3年生7人の総勢19人で日々、切磋琢磨してい

女子剣道部 杉原 千穂

ます。昨年度においては関東大会、インターハイ、選抜新人大大会に出場。インターハイではベスト16という結果を残すことができました。毎日の練習を通して、学

校生活でも協力し合い絆を深め、今年度は目標を達成できるように頑張りたいと思います。



高みを目指して

バレーボール部長の八ヶ代颯です。顧問は藤井先生、顧問は八木沢先生です。また、外部コーチの浅間先生に指導を受け、県

バレーボール部 八ヶ代 颯

大会優勝、県大会ベスト8以上を目指し、試験期間を除き、練習試合を通して

成果を確認し、最後は楽しく終われるようにゲームをしています。昨年度は、春季県北大会、県北総体ともに準優勝でした。県大会ではベスト16で終わってしま



周りから応援されるチーム作りを

ソフトボール部キャプテンの和久桃香です。ソフトボール部は、監督の瓦井先生と顧問の吉田先生の指導のもと練習に励んでいます。瓦井先生

ソフトボール部 和久 桃香

は、とても熱心に指導してくれてくれます。吉田先生は、時には優しく時には厳しくアドバイスをくれます。

思います。そして、周りから応援されるようなチームをつくり感謝の気持ちを忘れずにプレーできるようなチームを目標にしていきたいです。



記録を伸ばせるように

部長の岡田です。短距離専門です。顧問の先生は田村先生で連日の活動は最初にラン

陸上部 岡田 真生

ニングを始めています。トレッチをしてダッシュ等

から各種目に分かれて練習を始めます。部員数は、男子5人、女子2人の計7人と少人数で活動しています。今後の目標は部員一人一人の成長と各種目において



基本を忠実に

皆さんこんにちは。男子剣道部部長の1年7組荒井佑輔です。男子剣道部は、上級生の先輩がいなく、顧問の築瀬康之先生ご指導のもと1年生3人で日々稽古に励んでいます。

男子剣道部 荒井 佑輔

主な稽古内容は、初めに基礎体力トレーニングを行なっています。ここでは、走り込みやトレーニング

ルームでの筋トレを行なっています。次に、防具をつけて基礎の体打ちや切り返しを中心稽古しています。この



リビングセンター

リビングセンター たかはし*

☎0287-43-0007(代) 〒329-2161 栃木県矢板市扇町1-9-15 営業時間/AM8:00~PM7:30 定休日/毎週火曜日(不定期で~す)

☎0287-43-0007(代)

〒329-2161 栃木県矢板市扇町1-9-15 営業時間/AM8:00~PM7:30 定休日/毎週火曜日(不定期で~す)



おもてなしの心をこめて... Welcome to yaita

~シティホテルのくつろぎをビジネスホテルの手軽さで~

ホテルウェリスミヨシ

〒329-2161 矢板市扇町1-13-4

TEL 0287-43-0013 FAX 0287-43-5877

http://www.hotel-wely.com

全国でも奮闘して

新聞部

石下 美琴

私たち新聞部は男子3人、女子5人合計8人で活動しています。活動内容は学校行事などを取材して、記事を書き、パソコンで紙面づくりをしています。夏休みと冬休みになると、特集号という通常より少し大きな紙面を制作しています。そんな新聞部を支えてくれているのが顧問の中山久生先生です。中山先生は昔、新聞記者をしており、当時経験したことを教えてくれます。時には優しく、時には厳しく、とても頼りになる先生です。昨年は全国高校総合文

化連盟みやぎ大会出場と、第11回栃木県高校新聞コンクール兼全国大会予選会で最優秀賞受賞と、朝日新聞社から速報賞を受賞しました。今後の抱負・目標は、県では今年連続で最優秀賞を取っているの、これからの取り組みが続いてほしいです。全国大会でも頑張っていきたいです。新聞部では新入部員を募集しています。カメラに興味のある人、パソコンが得意な人など、ぜひ見学に来てみてください。



一人一人がしべルを高め

吹奏楽部

奈良 葵

今年の吹奏楽部部長の奈良葵です。高校に入り、初めて吹奏楽部に入部しました。楽器を構えるのも、演奏するのほほ初めてですが、今はみんなと楽しく演奏しています。部員数は3年生2人、2年生4人、新1年生を含め計7人で活動しています。男子3人、女子4人です。顧問は小倉根真由美先生で、副顧問は山本香先生と、牛井

渕白倉先生です。私達が日々活動している内容は主に学校行事や地域行事に向けての曲の練習をしています。目標は、部員一人一人がレベルをさらに高めコンクールなどに出場をして良い成績を残すことです。本校の生徒に伝えたいことは、この吹奏楽部は人数がとて少ないので、ぜひ新1年生や他学年の生徒に吹奏楽部に入ってもらいたいです。初心者でも大歓迎なので良かったら南館一階の部室に見学しに来てください。



1つでも多くの賞を取りたい

文芸部

細川 瞳子

私は、矢板中央高等学校文芸部部長の細川瞳子です。顧問は、三根直長先生で、部員数は、私を含めて3人です。主な活動は、俳句、短歌、詩、散文を書いて、部員たちがそれぞれ評価し合っており、また、年に一度文芸誌「たかはら」を発行しています。昨年の成績は、第7回椽文芸賞団体

準大賞・佳作、第19回関東地区高校生文芸大会栃木大会出場、第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会出場など、さまざまな大会に出場して、いい結果を残してきました。今後の目標は、一つだけでも賞を取ることです。少しでも文芸作品に触れてほしいと私は思います。



級が上がるように稽古に励む

護身術部

小森 千聖

護身術部部長の小森千聖です。いつも部活の雰囲気を楽しんでいます。顧問は、早川和伸先生です。先生は、ユニークでいつも部活の雰囲気を和ませてくれます。活動日は、月曜日から金曜日まで毎日、休日に部活はありません。活動場所は、第二体育館です。基本は、追い突きや上段受けや前投げなど基本となる動作を行います。形は、太極初段や平安初段など基本形を練習します。組手は、決まった手順にしたがって技を掛け合う約束組手練習をしています。大会や試合はあまりありませんが、年に2回、審査

年が4人、2年生が4人、1年生が6人で男女の割合は半分くらいです。今後は郊外での活動にも力を入れていきたいです。また3年生は今年で最後の部活動になるので思い出になるような活動をしていきたいです。部員はあまりいませんが仲良く活動しています。少しでも興味がある方は気楽に見学にきてください。



思い出になる部活動を

茶道部

大島莉愛奈

茶道部部長の大島莉愛奈です。茶道部顧問、齋藤先生は優しく、生徒思いでとても接しやすいため先生なので仲良く活動しています。昨年はお茶会のお手伝いをたくさんしていただきました。茶道部は毎週水曜日に開くので、外でお茶をたててお客様に飲んでいただく時間を学んでいます。部員数は10人程度で3

物語を考え製作活動に没頭しています。またRPG作成はパソコンに慣れない人でも簡単に楽しむことができるので部員は一人からパソコンについて学ぶことができます。目標は部員全員が楽しく充実した活動をする事です。不束者ではありませんが部長として皆をまとめられるように努力をしたいと思っています。



楽しく充実した活動を

ワープロパソコン部

齋藤 歩

部長の齋藤歩です。私たちワープロパソコン部は女子2人男子7人です。顧問である赤平先生の指示のもと活動をしています。ワープロパソコン部を学ぶことです。部員の活動内容は主にRPG制作を通じてアルゴリズム

目標は部員全員が楽しく充実した活動をする事です。不束者ではありませんが部長として皆をまとめられるように努力をしたいと思っています。



リラックスしませんか

HAIR CREATE SALON

ONUKI

ヘア理容師 (大貫理容室)

矢板郵便局トナリ ☎ 0287(43)0748

有限会社 大谷自動車修理工場

代表取締役 大谷 和 男

車検センター 〒329-2161 栃木県矢板市扇町2丁目10番3号 ☎(0287)43-0224代 FAX(0287)40-1087

土屋営業所 〒329-2131 栃木県矢板市土屋258-1 (大型修理) ☎(0287)44-0597 FAX(0287)43-0345

自らの力を発揮して

卓球部部長の堀江杏果です。卓球部の顧問の川田先生は仕事熱心な先生です。昨年、休部を2人と少ないのですが、練習をたくさんして大会

卓球部
堀江 杏果

では個人でも団体でも自らの力を発揮して活躍できるような部活にしたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

応援よろしくお願ひします

書道部部長の3年6組の古内尚貴です。顧問の先生は磯先生です。活動は毎週木曜日に1時間おこなっています。今年目標は一人一人が上位をねらって頑張ります。

書道部
古内 尚貴

ていきたいと思っています。上位入賞をねらって頑張るので応援よろしくお願ひします。



頑張りました(1学期)

【バレーボール】

◇平成30年度栃木県高等学校体育連盟北部支部▽春季バレーボール大会▽団体第3位

【剣道女子】

◇平成30年度第59回栃木県高等学校総合体育大会兼第65回関東高等学校剣道大会県予選会▽女子団体準優勝

◇平成30年度第68回関東高等学校ソフトボール大会▽団体準優勝
◇平成30年度第59回全国高等学校総合体育大会兼全国高等学校剣道大会県予選会▽団体準優勝
【ソフトボール】
◇平成30年度栃木県高等学校体育連盟北部支部▽春季ソフトボール大会▽団体準優勝

◇平成30年度第68回関東高等学校ソフトボール大会▽団体第3位
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール▽栃木大会▽団体第3位
【検定】
◇第114回日本語ワープロ検定試験▽個人準2級1人・3級15人・4級110人▽須田翔大(3年1組)
◇第112回情報処理技能検定試験(表計算)▽個人3級1人▽鈴木龍政(3年7組)

◇平成30年度第68回関東高等学校ソフトボール大会▽団体第3位
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール▽栃木大会▽団体第3位
◇平成30年度第68回関東高等学校ソフトボール大会▽団体第3位
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール▽栃木大会▽団体第3位
◇平成30年度第68回関東高等学校ソフトボール大会▽団体第3位
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール▽栃木大会▽団体第3位

・〃 準優勝・〃▽大森翼(3年3組)▽大橋龍太(3年3組)▽大井川優(2年2組)▽後藤大輝(3年3組)

◇平成30年度栃木県高等学校体育連盟北部支部▽春季ソフトボール大会▽団体優勝
◇平成30年度第59回栃木県高等学校総合体育大会兼関東高等学校ソフトボール大会栃木県予選会▽ダブルス優勝・〃3位▽大森翼(3年3組)▽大橋龍太(3年3組)▽大井川優(2年2組)▽後藤大輝(3年3組)

◇平成30年度栃木県高等学校体育連盟北部支部▽総合体育大会兼道大会▽男子3年の部3位・女子の部3位▽近内佳樹(3年8組)▽山田愛佳(2年4組)

◇第29回読書感想画中央コンクール▽高等学校の部奨励賞▽齋藤歩(3年3組)
◇平成30年度芸術家書道1設色納涼書画団扇▽校内コンクール▽最優秀賞・校長賞▽栗原茉莉亜(2年5組)▽大橋和馬(2年3組)

◇第47回ハイスクールジャパコンカップソフトテニス2018▽県予選会▽ダブルス3位▽大森翼(3年3組)▽大橋龍太(3年3組)
◇平成30年度栃木県高等学校体育連盟北部支部▽総合サッカークリケット大会▽団体優勝

◇平成30年度全国高等学校総合体育大会サッカー▽県予選会▽男子団体準優勝
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会サッカー▽県予選会▽男子団体優勝
◇平成30年度全国高等学校総合体育大会サッカー▽県予選会▽男子団体優勝

部説

先月行われた全国高等学校総合文化祭へ初めて参加した。前夜祭で班別行動になったとき「他校生に迷惑かけないかな」と不安と緊張がピークに達し、逃げ出したい気持ちになった。

自己紹介になり、3年生は自分一人と知って不安は倍増。「班長なんて絶対できない」と確信してたら、ジャンケンで決めることに。私はジャンケンがとて

も弱く乗り気になれなかった。班の一人が「勝った人が班長」と言い、こういう時に勝ってしまう。最後の最後に負けたので班長は免れた。大会スタートからドキドキ感を味わうことになった。

大会2日目は班別取材。私たちの班は鉄道関係で「しなの鉄道」と観光列車の「ろくもん」。

さらに上田駅・駅周辺の自由取材。しなの鉄道を見るのは初めてで、今まで手動で開けるドアの電車も見たことがなかった。事前に顧問が言っていたことが信じられず、見たときは本当にびっくりした。上田駅に着くと、しなの鉄道

平成最後の総文祭

大会を振り返って

を実際に利用している高校生の話を聞いた。その後、赤備えの甲冑をも身につけた駅長が登場し、取材しているろくもんが到着。お客さんは六文銭入りの陣羽織を着て記念ボードやろくもん、駅長と記念撮影を楽しもうにしていた。ろくもんが発

もらえなかったのは残念だったが本当に良い経験ができたと思う。自分では良く終わることができた。ただ一つ残念なことは名前が「亜美弥」になっていたことだ。しかし、これを含めて良い思い出にしようと思う。

平成最後の夏、高校生最後の夏に総文祭に行けて良かった。(石井亜弥記者)

するとき、ホームにほら貝の音が響きわたってきれいな音だった。手を振って見送りも全員でやらせてもらった。3日目はそれぞれ書いてきた記事を貼り付ける作業。私たちの班はギリギリで無事終わったので安心した。完成した新聞を



学校教材・学校備品・事務用品・防災用品
印章・文具・スチール製品・保健用品

店舗引越しました!!
矢板小学童保育館となり

とちぎ笑顔つぎぎカード加盟店
お会計時にカード提示で3%OFF

「矢板中央高校の新聞見た」と、お声掛けしていただいたお客様
お会計金額より5%OFF♪

営業時間
9:00~18:00
定休日…日祝日

(株)マルヤ
矢板市本町3-10
TEL 0287-43-2639
FAX 0287-43-9870

株式会社 柴山金物店

総合建設資材・鋼材・機械工具

栃木県矢板市扇町1丁目6-2
TEL:0287-43-1245

生徒のひろば

協力して活気溢れる活動を



生徒会活動方針を読み上げる生徒会

より良い学校をつくるために

平成30年度生徒総会は5月25日、記念体育館で行われ、全校生徒が参加し今年度の事業計画や予算が承認された。

五田田校長は「生徒総会というのは1年間の生徒会活動の方向性や大事な予算などを協議する大事な場です。この生徒会活動はそういった一般社会の中で多用できる者を高校生としてのうちにつかり身につけるというこころです。生徒会活動はそういった面で最適の場であると思います」とあいさつ。また、鈴木会長は「これから配布された資料を元に行っていくたいと思います。」

その後、今年度の生徒会役員が紹介され、議事に入った。議事では昨年度の事業報告、決算報告、会計監査報告が行われ、今年度の事業案、予算案も承認された。

今年度のスローガンは「感謝・協力・飛躍」に決定した。また、生徒会活動方針では「生活指針である『三動・一心』を常に守るよう努め、一致団結して活気あふれる活動を展開します。『学校をきれいにし、安心して安全な学校づくり』に努めます。『諸活動を通じて、矢板中央高生としての誇りと連帯感を高め、唱和』が読み上げられ、唱和した。

2学期になると、いよいよ本格的に就職試験や大学受験の時期になり、忙しくなります。僕は大学受験のために勉強をいつも一生懸命していますが、もちろん生徒会での活動も今後、怠らないうちにしていきたいと思っています。

まず1学期では、スマートフォンを授業中に使用することや、私語を話していることなどをしている人が減ってきているように思っています。それを今後意識して継続して行ってほしいと思います。

1学期のことを通して達成できていないことは「学校祭を濃密なものにする事」です。「山桜」にも掲載されていたことで、具体的に、パフォーミングの物を多く取り入れて、やっていける人も見ている人も楽しめるものにしていきたいと思っています。

大学受験とイベントの計画との両立は大変だと思いますが、頑張ってきたように思っています。これからも頑張ります。

可立を頑張りたい
鈴木生徒会長

生徒会役員に聞く



①簡単な自己紹介をしてください。
②生徒会に入ろうと思った理由は何ですか？
③生徒会で頑張りたいことは何ですか？
④矢板中央はどのような学校であつてほしいですか？
⑤最後に、在校生にひとことをお願いします。
⑥好きなアーティストは何ですか？

生徒会長
鈴木太郎



①3年3組の鈴木太郎です。
②私が生徒会に入ろうと思った理由は、去年も生徒会で活動し、生徒の代表として活動するのがとても楽しかったからです。
③生徒会で頑張りたいことは、副会長として、去年よりも良い学校にし、行事など全員が楽しめるようにしたいです。ボランティアなども積極的に参加したいと思っています。
④矢板中央は、部活動がとても盛んなので頑張っています。
⑤皆でよりよい学校にしましょう。
⑥好きなアーティストは、櫻坂46さんです。とてもカッコイイので大好きです。

副会長
山岸万祐



①3年5組の山岸万祐です。
②私が生徒会に入ろうと思った理由は、去年も生徒会で活動し、生徒の代表として活動するのがとても楽しかったからです。
③生徒会で頑張りたいことは、副会長として、去年よりも良い学校にし、行事など全員が楽しめるようにしたいです。ボランティアなども積極的に参加したいと思っています。
④矢板中央は、部活動がとても盛んなので頑張っています。
⑤皆でよりよい学校にしましょう。
⑥好きなアーティストは、櫻坂46さんです。とてもカッコイイので大好きです。

副会長
中山真里



①3年7組の磯博貴です。
②去年の生徒会での経験を活かしてスムーズに仕事をこなすことや次の代に活動の内容や流れを伝えるためです。
③学校行事やボランティア活動を頑張りたいです。
④あたりまえなことですが、快調な学校生活を送ることができるといいです。
⑤back numberです。

庶務
磯博貴



①3年7組の磯博貴です。
②去年の生徒会での経験を活かしてスムーズに仕事をこなすことや次の代に活動の内容や流れを伝えるためです。
③学校行事やボランティア活動を頑張りたいです。
④あたりまえなことですが、快調な学校生活を送ることができるといいです。
⑤back numberです。

副会長
青木龍也



①3年7組青木龍也です。
②矢板中央高等学校で活動しています。
③年中行事とボランティア活動です。
④時を守り、場を清め、礼を正すような高校生活を送りたいです。
⑤これからもよろしくお願ひします。
⑥K O N E O K R O C

会計
豊田杏奈



①3年5組の豊田杏奈です。
②私が生徒会に入ろうと思った理由は、去年ボランティアなどに参加した時に、先輩達や生徒会の人達の活動を見て、私も参加して良かったです」と振り返った。

会計
山田真彩希



①2年6組山田です。本を読むのが好きです。
②私が生徒会に入った理由は、学校をよりよい場所にしたいと思ったからです。
③生徒会に入って一番頑張りたいと思ったことは、人のためになることだと思います。
④僕はこの学校に、真剣さが足りないのではないかと思います。授業中のスマートフォンは後を絶たず、授業でうるさくして生徒指導になる生徒が多いです。先生がいなくても教室は静かになりません。そんな正直者が馬鹿を見る学校が少しもありません。
⑤在校生の人も、一度自分と、自分のクラスの雰囲気を変えて考えてみてほしいです。
⑥「コレサワ」です。声が可愛くて、女の子が共感できるような歌が多いので好きです。

会計監査
大島愛奈



①生徒会会計監査の大島莉愛奈です。
②昨年も生徒会に入り、書記をしていたので今年も入ろうと思いました。
③今年で2年目なので昨年の活動を活かしてよりよい学校づくりに努めたいです。
④生徒が誇りを持って「矢板中央の生徒だ」と言えるような学校であつてほしいです。
⑤精一杯頑張るので、優しい目で見守ってください。
⑥「コレサワ」です。声が可愛くて、女の子が共感できるような歌が多いので好きです。



生徒会執行部

①生徒会の書記を務める本間翔澄です。
②これからの自分に役立つと思ったからです。
③自分の役割を果たすことです。
④生徒会一人一人が責任を持った行動をし、何事にも真剣に取り組むことです。
⑤今の目標より一つ上の目標を目指し頑張ってください。
⑥ジャンプです。

書記
本間翔澄



①2年4組、生徒会会計監査の山田愛佳です。柔道部に所属しています。
②この学校をよりよいものにし、充実した高校生生活を送りたいと思ったからです。
③学校行事や生徒会活動などで、全力で取り組むことです。
④何事も全力で取り組むことができ活気のある学校であつて欲しいです。また、スポーツ活動も文

奉仕活動 第1回

生徒49人が参加して教室清掃

短縮日課のため延期されていた第1回奉仕活動は5月18日に校舎内で行われ、生徒49人が参加した。放課後3年6組に集合した生徒たちは雑巾を渡され自分の教室の窓の

さん拭いた。奉仕活動に参加した大

奉仕活動 第2回

生徒99人が参加して校内のゴミ拾い

第2回奉仕活動は6月8日、校内で行われ、生徒99人が参加した。放課後道場下に集合した生徒たちはトンガを渡され、各々の場所でゴミ拾いをした。

奉仕活動に参加した佐藤由菜さん(3の4)は「ゴミが多く大変だった」、大貫拳士朗君(3の4)は「すごく汚かったけどきれいになりました。」

ゴミ拾い大変だ

奉仕活動 第3回

生徒58人が参加して水回りや壁の清掃

第3回奉仕活動は7月6日に校舎内で行われ、

綺麗に磨くぞ!

送った方、頂いた方、心から喜ばれるお花。

JFNジャパンフラワーネットワーク会員
フラワーショップ

大切なあなたに... 花を!

花美

はなよし

矢板市富田528-1
TEL 0287-43-2928 FAX兼用

各種健康保険・交通事故・労災取扱

矢板大地鍼灸整骨院

〒329-2164 栃木県矢板市本町14-8
TEL 0287-47-4977
FAX 0287-47-4978

ナチュラルフォトはかがずが

Photo Studio Fukushima 福島写真館

〒329-2161 矢板市扇町2-1-24 TEL 0287-43-0517
www.studio-fukushima.com

街の便利なでんき屋さん

AVP SHOP AKUTSU

有限会社 アクツ電器

矢板市本町4-58
TEL (0287) 44-0329(代)
FAX (0287) 44-0339

PTAだよ



会長側と役員側が紛糾 PTA総会

PTA総会は4月28日に本校記念体育館で行われ、新会長に和氣真文さん（矢板支部）が決まった。はじめに和田会長は「これから研修旅行をはじめバ

レール大会、寺山ウォーキングなどさまざまな行事が入ってきます。参加の難しい方もいると思いますが、一人でも多く行事に参加してほしい」とあいさつ

した。五味田校長は本校部活動の功績を挙げながら「多くの方が一緒に行事に参加していただけてPTA活動が活発になってほしい」と話した。

総会では昨年度の事業報告、決算、監査報告が行われた後、今年度の事業報告や予算案が承認された。協議事項の会則改正では1つは、支部が8つだったところを黒磯支部と那須支部が合併し那須・黒磯支部となった。このため支部が7つになったことが承認された。一方2つ目の第5章

第19条を（本会に顧問を2人置くことが出来る）から（本会を賛助員として3人まで置くことが出来る）と改正することについて、役員から「賛助員を2人から3人に増やす必要があるのか」、「賛助会員の格付け

をなくして今まで通りでよいのではないだろうか」など意見が挙げられ、顧問を巡って会長側と役員側が紛糾した。結果、約五分本部役員側で審議が行われ顧問を3人にするのは半ば強引に採決された。顧問は賛助会員として3人置くか、顧問を3人置くのかの2つの意見で多数決となり、賛助会員として3人置くことに決定された。この後退会役員へ感謝状が贈呈されたほか、新役員からのあいさつがあった。

主な役員は次の通り。
会長 和氣真文（矢板）
副会長 石川堅一（さくら）
・高根沢 八ヶ代友香（大田原） 山崎武（教頭）
会計 遠藤はるみ（宇都宮・県南） 監査 後藤政人（那須・黒磯） 北原孝弘（大田原） 細谷洋美（塩谷・日光） 総務委員 長 東泉喜之（矢板） 研修委員長 齋藤美奈（西那須野・塩原） 校外生活委員長 齋藤美奈（西那須野） 交通安全委員長 塩原

鹿沼広明（さくら・高根沢） 広報委員長 鹿沼広明 亮彦 和田祐子 和氣広之 鈴木 顧問（さくら・高根沢）

新会長に和氣真文さんが就任



新PTA役員を紹介する和田元会長

PTA研修旅行は6月9日に開催された。内容は世界遺産の「富岡製糸場視察見学」と「小江戸川越散策」の歴史を学ぶ2本立てだ。参加は各支部、山桜会、顧問、教職員合わせて総勢50人、バス2台で研修地に向かった。

車中で齋藤研修委員長から「初めて行かれる方もそうでない方も楽しんでください」とあいさつ

があり、中村学院院长より「なかなかお話しする機会もないので、法人に対するご要望等あれば伺います」と話した。

が現存しているのは国内でこだけであり、官営工場として国がいかに力を注いでいたかさまざまな面から窺うことができた。滞在1時間で駆け

待ちの長い行列を進みながら家族にお土産を購入する参加者の姿が多く見られた。1時間ほど関越道、圏央道を移動し、川越の初かり

丁で名物の長い麩菓子を求める参加者も多かった。大田原支部の佐治さんは「息子のために川越氷川神社まで足を伸ばし、合格祈願をしてきました」と話していた。戻った車中での会話も弾み、2時間の自由散策を思い思いに楽しんで過ごした様子が窺えた。梅雨の合間だったが、天候にも恵まれ有意義な研修旅行となった。

歴史を学ぶ

PTA研修旅行

最初の行先である「富岡製糸場」はボランテイアの説明を聞きながら東置賜所や繰糸所施設等を巡った。フランス積みレンガ施設

足だったことが残念だった。次にガトーフェスタハラダにて工場見学を行い、ラインでラスクが梱包される速さに目を見張った。店内ではレジ

第1回PTA役員会は5月19日、記念体育館ミーティングルームで行われ、PTA役員、約30人が集まった。各委員会から1年間の行事について報告があった。親睦パレード大会の抽選が行われ、初戦は矢板ー教職員、日光・塩谷支部ー山桜会で行われることが決まった。

和氣会長は「まだまだ不

最後に顧問の中山先生と相談し合せて終了した。

郊外あいきつ運動については「例え生徒があいきつを返さなくてもあいきつする」と決めた。「2回あるのでなるべく1回は参加できるように頑張らしよう」と参加を呼びかけた。

最後は顧問の中山先生と相談し合せて終了した。

研修委員会は、PTA研修旅行の行き先を富岡製糸場に決定した。また、小京都の川越を回ることにした。研修委員らは「参加できる人は積極的に参加し、参加する人に一人一人、連絡した方がいい」と語っていた。交通安全委員会は、10月29日に二輪車安全講習会に参加する。

去年は矢板東など3校の高校が参加した。今年も3校の高校が合同参加すると話していた。

広報委員会は、学校新聞発行について話し合った。

話し合いでは、8月下旬に研修旅行があり、参加は自由であることなどを話し合った。

広報委員会は、学校新聞発行について話し合った。

話し合いでは、8月下旬に研修旅行があり、参加は自由であることなどを話し合った。

話し合いでは、8月下旬に研修旅行があり、参加は自由であることなどを話し合った。

話し合いでは、8月下旬に研修旅行があり、参加は自由であることなどを話し合った。

話し合いでは、8月下旬に研修旅行があり、参加は自由であることなどを話し合った。

有限会社

エマタ・カメラ店

代表取締役 江 俣 俊 美

栃木県矢板市扇町2丁目1番6号
電話 0287-43-0558



せとものの店

岸 商店

矢板市本町11-4

TEL 0287-43-0311



第1回PTAあいさつ指導

第1回PTAあいさつ指導は6月1日、JR黒磯駅、那須塩原駅、西那須野駅、矢板駅、氏家駅の5駅と本校正門で行われた。この日は晴れ上がったものの風が強く、PTAのぼり旗があられた。保護者からは「思ったよりあいさつして



一般の方もあいさつ

と生徒の印象を話していた。那須塩原駅では利用する生徒が少なかったが積極的にあいさつを交わっていた。松澤寿実さん(西那須野・塩原支部)は「ちょうど衣替え1日目に生徒の顔が見れて良かった。菊地泰代さん(同)は「初めは緊張しましたが貴重な時間でした」と話していた。

黒磯駅では、PTA役員6人と教職員1人が参加した。最初はイヤホンで音楽を聴いたり、携帯電話を操作したりしていたが、あいさつをしてくれる人が増えていった。

稲見さんから五味田校長に60周年記念整備基金として保護者から集めた約29万円寄贈の目録が手渡された。

361人だ。そして同窓会表彰として、新聞部の泉瀧紗耶加さんから5人が受賞した。

同窓会入会式



表彰された生徒たち

PTA入会式

入学式に続いて、平成30年度のPTA入会式が行われた。和田会長は「参加型PTAを学校で実施します。1人でも多くのPTAの方が楽しんでできるPTAを目指している。一緒に矢板中央高校を盛り上げていきましょう」とあいさつした。その後、7支部の支部長が自ら支部を紹介した。

保護者主催行事



行事を受ける保護者

卒業式後、保護者主催として「平成29年度卒業記念品贈呈並びに卒業準備金決算報告会」が実施された。

平成29年度同窓会入会式は2月28日行われた。同窓会連絡員認証授与が行われ1組から8組の代表者各2人ずつ壇上に上がった。山本同窓会会長は「2年後の成人祝賀会にぜひ参加してください」と呼びかけた。五味田校長も「多くの皆さんが出席して盛り上げてほしい」と話した。今回までの卒業生はスポーツ科1029人の計14



教員の役割を説明する松山先生

平成30年同窓会総会・十年会

6月23日、平成30年度同窓会総会・十年会が矢板イースタンホテルで午後3時から行われ、役員、教職員、同窓生合わせて約40人が参加した。

はじめに山本会長が昨年度の60周年を迎えた本校の様子や部活などの近況を語り、「今後も皆さん一人一人から協力いただければ



と話す」とあいさつした。また中村理事長は学校概況と共にこの日行われていた運動部の各種大会について触れ、特にバスケットボール部がインターハイ予選決勝に勝ち上がったことに興奮しながら話していた。議事では平成29年度事業報告、会計収支決算会計監査報告、平成30年度事業計画、会計収



支予算などを議論し、総会は滞りなく終了した。同3時50分から十年会が開催され、特に恩師あいさつで松山先生は就職してまだ間もない頃の話を、笑いを交えて紹介した。旧友や恩師と交流を深め、当時の懐かしい話や近況報告などで盛り上がり、同6時に閉会した。

できました。実はまた来年も一緒に行こうねと声を掛けられ、今年2回目の研修旅行です。世界遺産富岡製糸場・ガトーフェスタハラダ・川越市まつり会館のコースでした。私は好物のラスク、ガトーフェスタハラダの買物をとても楽しみにして行き、群馬県限定のラスクを購入できたことに大満足。帰るバス車内で松山先生によるゲーム・ガイドさんの秘話に皆大爆笑し、あつという間に矢板中央高



校正門に着。楽しいひとときを過ごさせて頂きありがとうございました。

焼きたてパン・調理パン
各種販売しております。

有限会社マルゴー

〒329-2161 栃木県矢板市扇町1-12-1

まつや呉服店

呉服・洋品・体育着

矢板市扇町2丁目5-6
TEL 0287-43-0276

ニュースフラッシュ

献血バスで

栃木県赤十字献血センターの献血活動は1月19日に本校生徒を対象に記念体育館裏の献血バスの中で行われた。1時間目から6時間目の終わりにまで実施され、生徒たちは最初にミーンティングルームと呼ばれ、いくつかの質問に答え、血圧を測ったあと献血バスに移動し献血した。



歩さん、金賞受賞

本校生徒の齋藤歩さん(2の3)が日本郵政グループ主催、第50回手紙作文コンクールの絵手紙部門で金賞を受賞し2月2日、校長室で表彰が行われた。金賞を受賞した齋藤歩さんは「まさか自分が賞に入るとは思わなかった。こんなにも多くの人たちに祝福してもらえてうれしい」と喜びを語った。

大賞に北原君

第19回ともなり文芸祭り

の表彰式が2月23日に矢板市生涯学習課で行われた。各部門の大賞と準大賞受賞者が出席し、本校からは詩の部門大賞を受賞した北原玄徳君(1の4)、短歌の部門準大賞を受賞した重枝学人君(1の8)が出席した。

本校を巣立つ

第59回卒業式は3月1日、中央記念体育館で行われ、卒業生193人が本校を巣立った。校歌斉唱後、各担任から一人一人の名前が呼び上げられ、スポーツ科代表で高島祐樹君、普通科代表で手塚達也君がそれぞれ五味田校長から卒業証書を受け取った。



五味田校長は式辞で「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度は本校60周年で広く県民の皆さんや地域の方々に感謝や元気を与える素晴らしい活躍をしました。自分をよ

り一層高めてほしい」と応援の言葉を送った。

速報賞受ける

第47回全国高校新聞コンクール表彰式は3月5日、朝日新聞東京本社で行われた。速報賞を受賞した本校新聞部からは北原玄徳君、田代歩君、中山先生の3人が出席した。

表彰式の前に朝日新聞社の紹介及び社内見学が行われた。初めに同新聞社の紹介と新聞のできあがり方がまとめられたDVDを15分ほど観賞。その後報道局、編成局、地域面編集局、築地印刷工場、発送室を見学した。担当の係員が「昔、連絡手段として鳩を使用し90%の確率で成功していたことなど詳しく説明した。印刷工場の巨大な回転機を見学した後、オフセット印刷がどのような仕組みになっているのか実際に使われている道具で実演した。表彰式では門脇廣文大東文化大学学長のあいさつと宮田謙一朝日新聞ジャーナリスト学校長による講演会後、賞状贈呈が行われ、北原玄徳君が本校代表として盾を受け取った。

本校説明

平成29年度のオリエンテーションは3月20日、記念体育館で行われた。この行

事は、新入生に入学前の心得、本校の教育方針などを理解してもらうため毎日開かれていた。

225人が入学

第62回入学式は4月6日、満開の桜の下で記念体育館で行われ、スポーツ科37人、普通科188人計225人が高校生のスタートを切った。

入学許可の後、五味田校長は「私も教職員一同はお預かりしました。ご子息、ご子女をできる限りの指導・支援を行う次第であります。高校生という、青年期になりますのでこれまでとは異なり、少し距離を置いて成長を温かく見守っていただければと思います。一人一人が自分をしっかりと見つめ将来の目標を定め、1度しかない高校生活を有意義にしてほしい」と式辞を述べた。

松本先生と別れ

離・新任式は4月9日、記念体育館で行われた。今年には離任者が2人、新任者

が5人で計7人が異動した。離任式で五味田校長は離任者2人を紹介。離任者あいさつで松本先生は「52年という長すぎた教員生活を終えることができました。そういう意味では本当にこの学校に感謝しています」と感謝の気持ちを述べた。

一方、新任式で新任者の印南良博先生は「本校で働けることを大変誇りに思っています。この学校でぜひ自分を磨いていきたいと思えます。上林孝至先生は「矢板中央高校のサッカー部に入っていました。そんな自分を育ててくれたこの母校で教壇に立てることに感謝して精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします」とあいさつした。新任の先生は5人。

新生活をスタートして新しいことを始めてみてくださいます」と歓迎の言葉を述べた。続いて新入生代表の石川救君は「温かい歓迎の言葉ありがとうございます。先輩たちの温かいお言葉により不安以上に多くの希望を見出すことができました。私たち225人をどうぞよろしくお願ひします」と感謝の言葉を述べた。

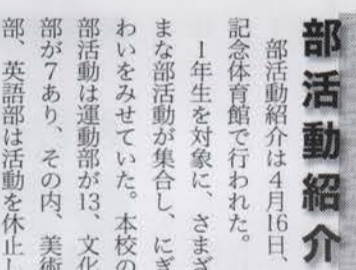
初顔合わせ

新入生と2・3年生の初めての顔合わせとなつていた対面式は4月9日、記念体育館で行われた。



部活動紹介

部活動紹介は4月16日、記念体育館で行われた。1年生を対象に、さまざまな部活動が集合し、にぎわいをみせていた。本校の部活動は運動部が13、文化部が7あり、その内、美術部、英語部は活動を休止している。各々は工夫し、さまざまなアイデアで新入部員を勧誘していた。吹奏楽部はディズニーマの「Under The Sea」を演奏し、1年生は聴き入っていた。競技カルタ部は競技カルタの実演を行いより理解を深めさせた。会場は終始活気に満ちていた。



月23日、行われた。訓練は防災意識を高めるため毎年行っている。

午後2時24分、東館から出火。避難の放送があった。各クラスは、ホームルーム担任の指導に従い、避難した。生徒たちは西グラウンドに集合し、担任の点呼により人数確認し、避難訓練は終了した。

矢板消防署の渡辺英之さんは「火災の時、火が上に行ってしまうこともある。実際、昔の煙は一酸化炭素とよばれていたが、今はシアン化水素と呼ばれている。煙で意識を失って倒れてしまうのでちゃんとハンカチで口や鼻をおさえ、背を低くすることが大切です」と火災の対処方法を話していた。

災害に備えて

平成30年度消防訓練は4



災害に備えて

次消防訓練では、野球部、サッカー部の生徒合わせて8人が参加した。カーブコーンが火元と思つて消火器を持ち、噴射した。避難訓練を終えた後、参加した小森千聖さん(3の6)は、「消火器を使って火を消すときは、火の根元から消すことが分かった」と話していた。

COROLLA MODELLOSTA



COROLLA FIELDER



トヨタカローラ栃木

http://www.corolla-tochigi.co.jp/

本社/宇都宮市上横田町798番地

フリーコール

0077-78-1233

臨時集会

2年4組、サッカー部の中山直人君(16)が急死したことを受け、5月11日、臨時集会在午前、記念体育館で全校生徒を集めて行われた。

五味田校長は「皆さんに悲しいお知らせがあります。今週の5月8日火曜日の専攻実技のサッカーの授業中に中山直人君が突然倒れ、救急車で済生会宇都宮病院に運ばれ、懸命な治療が行われていましたが、今朝の5時25分に息を引き取りました。中山君のご冥福を祈り、生徒の皆さんと共に黙祷をし、哀悼の意を捧げたいと思います」と話し、約1分間、黙祷した。

五味田校長は「残された私たちが落ち着いて冥福を祈ることが私たちの勤めだと思ふ。中山君も私たちが動揺することなく落ち着いて生活することを望んでいる」と話した。



中山君の葬儀・告別式は5月14日午後、那須塩原市で執り行われ、本校関係者の教職員、2年4組生徒全

員、サッカー部などが参列して、中山君の冥福を祈った。仲の良かった同じクラスの人見太陽君が弔事を読み、ある日の中山君を語る、会場からはすすり泣く声があふいた。

新ルールを守る

生徒指導講話は4月9日、記念体育館で行われた。

生徒指導部長の高橋先生は「年度年度でこれから新しいルールが決まってきた。問題を起こす生徒に対しては今年徹徹底して反省を促していきたいと思ふ。新年度になり新しいルールを決めたので、それをしっかり守ってください」と説明。

最後に高橋先生は「皆さんにお願ひがあります。きょうここに居る皆さんは全員卒業してください。これが学校の先生、親の願ひです」と訴えた。

山田君が優勝

ピリオオバトル春の陣は5月30日6校時に1年生を対象にミーティングルームで行われた。中口麗くん(2の4)、堀江心愛さん(同)、北原玄徳くん(同)、山田真彩希くん(2の6)がそれぞれ自分の好きな本を紹介し、山田真彩希くんが優勝に輝いた。

最初に司会者の高梨優依さん(2の7)がピリオオバトルについての説明と発表者を紹介した。発表者は持ち時間5分で本の大まかなあらすじ、見所、感想を観客に興味をもたせるよう

に各自工夫して発表。発表後投票が行われ「文学少女」と死にたがりの道化」を紹介した山田真彩希くんが優勝。優勝者の本は本校図書室に展示される。

優勝した山田真彩希くんは「みんな楽しく聞いてくれて良かった。やりがいがあった」と話していた。



スタディーサポート

スタディーサポートは5月31日に進学クラスを対象にミーティングルームで行われた。「卒業後の進路」、「今の自分の位置を知る」、「これからどう頑張るか」の3つをテーマにベネッセの吉田光男さんから話を聞いた。

参加者は自分の就きたい職業について考えたり、スマートフォンを使って無料で授業動画を見ることができ、Classiにパスワードを登録したりした。

3年生進路ガイダンスは、6月6日の5・6時時間目に記念体育館をメイン会場で行われた。

熱心に拝聴

大学・就職・公務員の希望する進路に分かれ、話を聞いていた。大学・短期大学・専門学校は記念体育館で行われ、それぞれ希望した第一・第二・第三希望の大学説明を生徒たちは熱心に聞いていた。



舟生爽華さん(3の7)は「3校それぞれの特徴があつて、充実した2時間だった」と話した。

交通安全講話は7月11日、記念体育館で行われた。この講話は、夏休みの交通安全対策。講師に矢板警察署の枝史郎交通総務係長と高野和也警務第一係長を迎えた。

枝係長は「矢板市内の人身事故の件数は今年上半期52件で、死亡事故は1件もなかった。国道4号線は東京などに続く大事な道路にもかかわらず死亡事故がないのは不思議だと自分も思っている」と説明。また

「車社会なので車がないと生活できないといわれている。免許を取ったりしたときに事故に遭う可能性がある。必ず出てくるのでいろいろ注意してもらいたい」と訴えた。

高野係長は「夏の警察官の採用募集が間もなく開始されます。それに関して警察官という仕事を就職するにあたって1つの選択肢として考えていただければと思います」と呼びかけた。講演を終えた枝係長は「人数が多くてとても驚いた。夏休みに事故に遭わないように気を付けてほしいです」、高野係長は「警察官になってくれるように期待しています」と話した。

平成29年度の修学旅行は3月6日から同9日の3泊4日の日程で、2年生と教職員約24人が参加して行われた。期間中沖繩は雨の予報だったが、大半が曇りで

過ごしやすい気候になった。修学旅行は普段の学校生活の延長であることを自覚し、高校生らしい行動をし、自然や風土、歴史文化、生活環境などを学ぶことが主な目的だ。

一行は3月6日朝に集合後、午前6時にバスで羽田空港へ向かい、そこから那覇空港へ旅立った。那覇空港に到着後、ひめゆりの塔・平和祈念資料館に行き、そこで戦争の悲惨さ、生きていくことの尊さを学んだ。

見学を終えた一行は、みゆきハマバハリゾートホテルで一日の疲れを癒した。2日目の7日は、東村の村営体育館で、あらかじめ分けられていた班ごとに農家さんのもとに集まり、その日は民泊(ファームステイ)という形で農業を手伝ったり、沖繩ならではの料理の作り方を学んだりして農家さんと過ごした。

3日目の朝、朝食を終えると村営体育館でそれぞれ農家さんと別れを告げ、生徒たちはバスに乗り、美ら海水族館に向かった。美ら海水族館では、美しい魚たちに感動し、思わず声を漏らす生徒もいた。水族館で夢のような時間を過ごした生徒たちはその後、フルーツランドに行き、そこで昼食を食べ、沖繩そばなどの郷土料理に舌鼓を打った。その後、ホテルサン沖繩に荷物を置き、それぞれのグループを作り国際通りで約3時間の自由行動となった。お土産を買ったり、商店街に行ったりと思ひ思いに楽しんで

4日目の最終日、9時にホテルを後にした一行は、沖繩の名所、首里城を見学した。記念撮影後、自由に場内を回った。バスで空港に向かい、飛行機に乗り、バスで矢板駅・矢板中央高に行つて、長い修学旅行は幕を閉じた。

2学年を対象とした進路部長講話は3月14日、6校時に記念体育館にて行われた。進路部長の田村先生は「進学希望者だけでなく就職希望者の方もオープンキャンパスへ行つておくといい」と訴えた。

最後に「進路について親とよく話しておくこと」と呼びかけていた。人見百々花さん(2の6)は「自分の進路についてしっかりと考えないといいけないなと思ひました」と語った。

親と相談が大切

沖繩を満喫

事故に遭わないように



しんでいた。19時の集合時間になると、生徒たちはそれぞれホテルの部屋に帰った。

思い出に残る いい旅、楽しい旅を たくさんお届けします。

株式会社 羽田観光

代表取締役 羽田 和史

〒329-1311 栃木県さくら市氏家2565-30

TEL 028-682-2245 FAX 028-682-4614

中国の文化と風習をテーマに

本当の中国を感じよう

国際理解講演会



スクリーンを使って講話

「いま世界は、目まぐるしく変革期に入っています。こういう機会は滅多にないので良く聞き、隣国とどのような向き合い方が自分にとっていいのか学ぶ時間にしてほしいと思います」とあいさつした。

雅甜さんは最初に中国の風土と自分の生まれた山東省についてスクリーンを使って紹介。「中国には4つの所轄地、23の省、民族が割と主従的に住んでいる5つの自治区があります。私の出身である山東省は中国の中では第3の経済大省で第2の人口大省でもあります。農業が発達しており、ニンニク、生姜、落花生が有名で今日本のスーパーに売られている中国産のピーナッツはおそらく山東省の

ものです。また儒教を広めた孔子の故郷としても有名です」と語った。

次に中国に住んでいる民族についてクイズを出しながら、中国内の民族の比率、住んでいる地域、違う民族と結婚した場合その子供はどつちの民族になるのかを説明した。また、雅甜さんは「中国には各地方の方言と民族の言語を含めると130種の言語、30種の文字があり北方に住む私にとって南方の言葉は外国語のように分かります。そのため共通の言語としてフォントフアン、文字は漢体字が使われています」その後、中国の学生の日常について語った。

最後に初めて日本に来た時、餃子はラーメンやご飯と一緒に食べることを知り驚いたことや、中国のカフェでは携帯などを充電して良いが日本では駄目でショックを受けたことなど日本と中国の些細な違いについて説明。生徒に対して

国際理解講演会は6月13日、記念体育館で行われ、講師の孫雅甜（そんがてん）さんが「中国の文化と風習」をテーマに講演した。雅甜さんは「栃木県では半年間中国での留学プログラムが

あります。興味があれば実際に中国に行って自分の目で見て本当の中国を感じてみてください」と生徒に訴えた。

最初に五味田校長は雅甜さんの紹介を交えながら

あり名付け親は長男です。6月生まれということで、「葵」と「月」の漢字にしました。親戚からは読めないと言われ、ひらがなにしようか迷いました（笑）人に優しくできる子になってほしいなと思います。

Q：子供が生まれた時の率直な気持ちはどのようなものだったのですか？

A：長男の時と同じくうれしい気持ちでした。初めての女の子なので、私よりも妻の方がうれしかったのではないかと思います。

「中国は日本と同じ小学校は6年、中学校は3年になっていきます。高校3年生になると6月に全国一斉テストがありそのテストによって大学に進学できるかどうか決まるので、高校3年生の生徒にとってすごくストレスがたまる時期です」また中国の食文化について「中国北部の方では饅頭などの小麦を使った料理が多く食べられ、南部では米を使った料理を多く食べられます。卵の炒め物や北京ダックなどが中国では有名です」と伝統料理や有名な料理について説明した。



インタビュー中

「最近景気が良くなり民間の会社に人が流れているため警察官になる人が少ない。逆に言えば人が少ない時に入り、仕事を熱心に行い、目立てばそれなりに偉くなることできる。だから今は入り時だと思おう」と笑顔で語るのは本村矢板警察署長（2月26日に取材。3月に県警警備二課長に異動）。生まれは熊本。父親が自衛官で、赴任先の栃木で定年を迎えた。以後、40年を栃木で過ごしている。小学生の昭和40年に剣道を始め職業を選ばず、剣道も両立して行うことが出来る

「もし皆さんが中国などの文化について興味を持ったなら県の公式サイトで中国やアメリカの文化を紹介しているのを見てみてください。また留学プログラムもあるのぜひ参加してみてください」と語り、雅甜さんは「思っていたよりも生徒は静かでおとなしかった」と講演を振り返った。講演会に参加した松澤寿実さん（保護者）は「中国についてはニュースなどを見て少しは知っていたが、講演で言語が130種類、文字が30個もあることを知りとても驚いた」と話していた。

というところに魅かれ警察官の道を選んだ。警察学校を卒業後、宇都宮東警察署の交番に赴任した。剣道を習っていたこともあり、30歳後半まで機動隊など体を使う職場を転々としていた。その後、警察学校の教官などさまざまな役職に就いた。SP関係の仕事の後、昨年の3月に矢板警察署に署長として赴任した。

警察官になり一番心に残っているのは東日本大震災の時のこと。当時本村署長が県警のデスクワークの担当者になって2日目に地震が発生、会議室から一斉に避難したことが記憶に残っている。

署長になり一番最初の訓示で署員に荒井退造の話を交え、たじろがず（恐れな）、愚直（真面目に）、命こそ宝（自分の命も大切な3つの方針を示した。また本村署長は任期満了までにこの矢板市を「警察官と住人が手を取り合い町を守っていく」という形を作りたい」と語った。

署長にインタビュー 笑顔で受け答え



葵ちゃん

こんどは赤ちゃん 黒田純一先生

Q：いつ生まれましたか？

A：平成30年6月12日生まれました。

Q：男の子ですか、女の子ですか？

A：女の子

Q：赤ちゃんの名前は何ですか？

A：葵月（あいる）

Q：名前を付けるにあたってどのような思いを込めたのですか？

A：長男がお腹にいるときから「あひるちゃん」と呼んでいて、そこから「あいるちゃん」となった経緯が

「葵」と「月」の漢字にしました。親戚からは読めないと言われ、ひらがなにしようか迷いました（笑）人に優しくできる子になってほしいなと思います。

Q：子供が生まれた時の率直な気持ちはどのようなものだったのですか？

A：長男の時と同じくうれしい気持ちでした。初めての女の子なので、私よりも妻の方がうれしかったのではないかと思います。

Q：子育てに参加してのご感想は？

A：長男坊と同じで育児の状態ですが、早く帰ったときはお風呂に入れたり、おむつの交換などしています。できる限り協力はしています。

Q：最後に、将来どのような職業に就いてほしいですか？

A：自分でなりたい職業や好きな職業を見つけてくれればと考えています。

「最近景気が良くなり民間の会社に人が流れているため警察官になる人が少ない。逆に言えば人が少ない時に入り、仕事を熱心に行い、目立てばそれなりに偉くなることできる。だから今は入り時だと思おう」と笑顔で語るのは本村矢板警察署長（2月26日に取材。3月に県警警備二課長に異動）。生まれは熊本。父親が自衛官で、赴任先の栃木で定年を迎えた。以後、40年を栃木で過ごしている。小学生の昭和40年に剣道を始め職業を選ばず、剣道も両立して行うことが出来る

というところに魅かれ警察官の道を選んだ。警察学校を卒業後、宇都宮東警察署の交番に赴任した。剣道を習っていたこともあり、30歳後半まで機動隊など体を使う職場を転々としていた。その後、警察学校の教官などさまざまな役職に就いた。SP関係の仕事の後、昨年の3月に矢板警察署に署長として赴任した。

警察官になり一番心に残っているのは東日本大震災の時のこと。当時本村署長が県警のデスクワークの担当者になって2日目に地震が発生、会議室から一斉に避難したことが記憶に残っている。

署長になり一番最初の訓示で署員に荒井退造の話を交え、たじろがず（恐れな）、愚直（真面目に）、命こそ宝（自分の命も大切な3つの方針を示した。また本村署長は任期満了までにこの矢板市を「警察官と住人が手を取り合い町を守っていく」という形を作りたい」と語った。

信頼と実績で43年

(株)高野商運グループ

代表取締役 高野和久

株式会社高野商運
高野総合運輸株式会社
さくら流通株式会社

株式会社和みの社
(農業生産法人)
株式会社ロジサポート
軽貨物事業部

本社：栃木県さくら市馬場132-1 TEL：028-682-2110 URL：http://www.takanoshoun.com/

生徒を代表して提案

矢板市模擬議会



クイズに答える生徒

矢板市議会との意見交換会は7月2日、矢板市議場で行われ、生徒会と各部活

司会進行のもと、初めに自己紹介。その後、和安司議長は

の活性化は、矢板市としての重要な問題と捉えていま

す。また公共施設再配置計画が完成し、今年から具体的な中身を作る事になって

う努力してまいります」と答えた。第1号、第2号は

これに対し和田議長は「取り入れられるところは取り入れていきたい」と答えた。

3年生を対象にした有権者教育講演会は5月30日、中央記念体育館で行われた。

森田昭一さんは「来年は全員が有権者ということになり実際に投票に行くことになり

投票しよう
有権教育
講演会

今回は中川先生です



アメリカ・ジャンボリーに参加(左から3番目)

では文化部(放送部、中2で転校後は科学部)、高校ではバドミントン同好会(土日は活動なし)に所属して

のオリオン通り付近で「赤い羽根共同募金」のボランティア、大晦日には活動場所であるお寺の除夜の鐘付きに来る方へ振る舞う豚汁作りと色々行っていました。

今回の写真は高校2年の時にアメリカで行われたジャンボリーに参加した時のものです。ジャンボリーとは4年に1度行われるボーイスカウトのキャンプ大会のことです。この時はジャンボリーやホームステイを行ったので、3週間程でした。英語は苦手だったので

すが、どうか会話に合ったので楽しく過ごせたとが出来ました。この時の体験が一番印象に残っているのは、「セロリ事件」です。ジャンボリー期間中の食事はインスタントが多く、肉料理がほとんどでした。そんな中何か欲しいものはと聞かれ、「野菜を食べたくないから、野菜が食べたい」と言ったところ、翌日届いたのがとても大きなセロリ束です。こういうものを望んだわけではなく、もらった以上は食べるしかなく、ひたすらセロリを食べ続け腹痛を起こしたとても苦い経験でした。

SNS講演会は5月2日記念体育館で本校生を対象に行われた。

講師に矢板警察署生活安全課の佐藤守央係長を迎え、SNSの正しい使い方を学んだ。佐藤係長は「SNSを利用することでいじめなどが多発している」と話し、主な対策として「絶対に写真を公開しない」、「インターネットで知り合った人とは会わないようにする」

係長は「皆ちゃんと聞いている」と思った」と感想を述べた。そしてSNSに関する過去の事例について銀行の口座を他に押し替えてしまう被害が多くあり、何回も経由して消してしまうと罪が起きている。皆さんには正しい使い方を学び、使い方を間違えないでほしい」と語った。

講演会後、佐藤係長は「皆ちゃんと聞いている」と思った」と感想を述べた。そしてSNSに関する過去の事例について銀行の口座を他に押し替えてしまう被害が多くあり、何回も経由して消してしまうと罪が起きている。皆さんには正しい使い方を学び、使い方を間違えないでほしい」と語った。

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

私は小学3年の時から、ボーイスカウト活動を行っています。週末に全国のボーイスカウトと交流を持ち、秋には宇都宮市

親切な指導で楽しく教習

高校生キャンペーン 毎日3食無料

栃木県公安委員会指定

那須自動車学校

0120-36-3142 ☎0287-36-3141 那須塩原市二区町352-7(国道4号線沿い)

株式会社 小堀建設 代表取締役社長 小堀 彰久
 ■矢板本社 栃木県矢板市扇町2丁目6番地32号 TEL 0287-43-3644(代)
 ■宇都宮支店 栃木県宇都宮市下栗町2936番地23 TEL 028-614-5031
 ■小山営業所 小山市雨ヶ谷町50番地 CRT7ハウジング小山総合住宅展示場内 TEL 0285-38-7800

株式会社 **小堀住宅**
 株式会社 **クリエイト**
 株式会社 **コスモス**

創業90年手作りの味の店
 地域の食材も、沢山使用しています。

大章軒 【営業時間】AM11:00~PM7:30
 【定休日】日曜日・祭日(予約可)

矢板市扇町1-9-4 電話 43-0139
 矢板のアップルカレーもやってます。おいしいですよ!!



本校
生徒に
期待

笑顔で語る齋藤市長

矢板の未来のために
 創立記念講演会



市長に質問する生徒

本校創立記念講演会は4月18日、記念体育館で行われた。

記念式典では五味田校長が「本日は19日にやる予定だったのですが、他の行事が入っていたので前倒ししてきよう行うことになりました。本校70周年に向けての新たな一歩を踏み出しました」と述べ、生徒たちに対し、「これからは一人一人が歩みを一歩一歩進めていき、思う存分、力を発揮してくれる学校にしていきたいと思っています」と語った。

次に、記念講演会が行われ、講師として、齋藤淳一郎矢板市長が登壇した。テーマは「ふるさと矢板の未来のために、矢板中央高校にも期待!」。齋藤市長は「矢板市は矢板中央と60年間共に歩んできました」と矢板の歴史を簡単に説明し、齋藤市長が小学2年生の時に政治家を目指そうと思ったこと、大学のサークルで弁論大会に出場したこと、

時代には生徒会議長を務めた経験があること、そして現段階でのプロジェクトやイベントの取り組みについてその中で齋藤市長は「夢や目標には日付を付けましょう」と話し、「日本は努力すればまだまだ何とかなると思います」と今後の日本についても話した。

講話が終わった後に、質疑応答の時間が設けられ、生徒たちからはいろいろな質問が挙がった。質問では「矢板市に体育館を創ることとはできますか」、「政治家の問題をどう思っていますか」、「高校生活を振り返ってどう思いますか」などの質問が挙がり、応答では齋藤市長が一人一人の質問に対して説明を加えながら応じていた。

講演会後、松澤寿実さん(広報委員長)は「講演はとてもおもしろかったです。生徒も一生懸命集中して聞いていて、質疑応答のときもたくさん手を挙げています。生徒さんにも驚きました。矢板駅東口の体育館もいろんな生徒さんに使ってもらいたいと思いました」と笑顔で話していた。講演を聞いた佐藤由菜さん(3の4)は「私には大人すぎてわからなかったけど、矢板市の未来のために頑張ってほしいと思いました」と語った。



校長先生の話

TPC 有限会社 高久印刷
 takaku printing co

TEL 028-673-2102
 FAX 028-673-7528
 〒329-1105 宇都宮市中岡本町2848-1
 E-mail net@tpc-takaku.co.jp

2019年4月
 「介護福祉科」新設!
 まずはオープンキャンパスへ!

【10月1日】
 入学願書受付
 スタート!!
 3/27まで受付中!

臨床工学科 (3年課程 40名定員)
 救急救命科 (2年課程 35名定員)
 公務員学科 (1年課程 40名定員)
 介護福祉科 (2年課程 40名定員)
 ※2019年4月設置計画

学校法人東洋育英会
さくら総合専門学校
 〒329-1321 栃木県さくら市馬場410
 TEL : 028-681-1301
 http://www.skr.ac.jp